徳島県環境基本計画の課題と見直しの方向性

現計画の体系	課題	見直しの方向性
第1章　計画策定の考え方 1　環境問題をめぐる動向 2　計画策定の趣旨 3　計画の基本的事項 4　計画の構成	○時点修正が必要である。	■徳島県環境基本条例の基本理念を踏まえた現計画をベースとして、時点修正を行う。
第2章　計画の長期的目標 1　目指すべき将来の環境像 2　計画の長期的目標 3　施策展開の基本的な考え方	○策定以降の環境情勢の変化に対応していない。	■新たな視点を追加するとともに、環境を取り巻く情勢変化に対応したものとする。
第3章　施策展開の方向 1　施策展開の体系 2　重点プログラムの推進 ＜重点プログラムのテーマ＞ 1　清らかで豊かな水環境の保全 2　廃棄物ゼロとくしまの実現 3　一人ひとりが取り組むストップ温暖化 4　豊かな生態系を育む地域づくり 5　地域環境力を高める人・地域づくり 6　環境と調和した持続可能な農業の振興 3　主要施策の推進 ＜長期的目標に沿った施策の推進＞ Ⅰ　人と自然の共生 Ⅱ　循環を基調とする健全な社会の実現 Ⅲ　地球環境保全への貢献 Ⅳ　参加と協調による環境保全の取組 Ⅴ　環境の保全・創造への基盤づくり	○重点プログラムと主要施策について重複部分が多くみられる。 ○各環境分野の個別計画が策定されていることから記載内容を絞り込む必要がある。 ○数値目標の項目内容が細かく、数も多いため、進捗管理が困難である。	■環境基本計画は、「基本的な目標や方策を示すもの」として位置づけられるため、環境政策の進むべき方向性と取組方策の方向性を示すシンプルな構成とする。 ■数値目標についても総合的なものに絞り込む。
第4章　計画の推進と点検評価 1　計画推進の基本方針 2　各主体の役割 3　計画の点検・評価 4　計画の進行管理体制 5　財政上の措置		■計画の進行管理体制や点検評価方法の充実を図る。